

] iO 5r
KAWASAKI STEEL GIHO
Vol.27 (1995) No.4

] iO 5r b5đS4 /i b"l '

Technical Features of Steel Structure Construction by Kawasaki Steel

5 ° #Ł(Tadao Kaneko) #^a ~ (Isao Urata) - ,q (Shigeru Ohkata)

O[² :

] iO 5r _ > E 5đS4 /i b"l ' c>* (ò f j) %* \ K Z&k %o î < _ P ´ M v b 6ä
\$, 6 8 c 5, K ^ @ } >* G } _ P K ^] b K /i Ü K Z >* 4 fO 8 x M / S4
"@ \ K Z S(M d /i >* l } _ c S4 "@ b µ+ x#Ýİ _4: M S4 O Ò** 7">* \$B
>* 758x ^] b Üö" g x* ö_6ı M OıOE /i)r K Z å" %o Üåç 6äK Z
8 G \ [6 1= e [c S4 " ÖåÝH \ _>* M ^ U (>* u g (5 _ > E
5đS4 \ K Z b (5r9µ* 8 + i (>* « q >* 4 S4 "@ ^] _ X 8 Z +1 b : <>* "l '
b m \ \ v _>* Ò b1"8 x _ v0 S

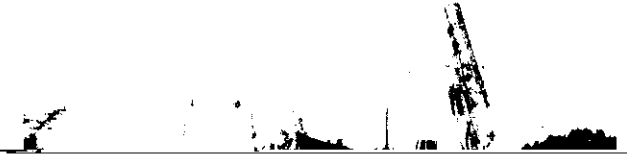
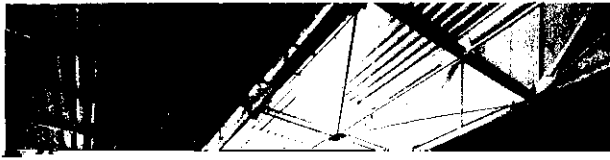
Synopsis :

Steel structure construction by Kura

Technical Features of Steel Structure Construction by Kawasaki Steel

要旨

問題を解決して、市場に送り出したのが、厚板にトラス構造 3.1.2 鉄骨製法の改良。





進的にオールポジション溶接が自動化できる技術開発に取り組むと
ともに、地道ではあるが疲労、防食を中心とする耐久性向上技術、
全世に制する耐久技術の高度化に努めています。

適用実績としては青森県、千葉県で施工された海釣り桟橋がある。本工法は従来の杭式桟橋に比べて立体骨組を現場で簡便に構築できるため、設計上および経済的にも合理的なものであり、港湾構造物への活用が期待されるものである。

3.2.2 護岸構造物

大宮人工地盤では調整池上であるため、本工法の適用が非常に有効であった。構造的には基礎である鋼管杭と人工地盤主部材である2方向梁格子との接合部の設計技術の確立、あるいは人工地盤の耐震設計、地盤上に構築する建屋基礎とのとり合いの問題など新たな技術課題の解決により成功裡に完工できた。本工法は新宿駅東口再開発事業にも適用され、今後の活用が期待されることとされている。

し、砂を申請した構造物は「二重矢板壁構造」²⁷⁾があり、護岸や

建設が進捗している。

食などの耐久性向上技術などもさらに有効な技術提案が必要である。さらに本文でも述べたように工場における自動無人化製造技術

である。

さらには、橋梁や港湾構造以外の構造物、例えば本文で述べた人